新本っ子

学校通信　No. ５０
令和５年１月発行
新本小学校
令和５年１月３０日

【学校教育目標：豊かな人間性をもち，実践力のある子どもを育成する】
新 自分で考える子　本 本気で取り組む子　義 きまりを守る子　民 みんな仲良く元気な子

赤米神事 年始祭（ねんしさい）参加　～4・5年生～

２７日（金），４・５年生は地域に伝わる赤米神事，年始祭に参加しました。年始祭は赤米にまつわる地域行事の一つで，一年の豊作を祈願し，旧暦の１月６日に毎年，本庄国司神社で執り行われています。

本校では，地域への理解や愛情を深める学習の一環として，総合学習（総合的な学習の時間）で地域伝承の古代米，赤米の学習をしています。年始祭には田植え，稲刈りなどの体験学習を行う５年生と次年度学習予定の４年生が毎年参加しています。

当日参加した児童は，赤米の御神饌米（神様に捧げる米）や餅などを神前に捧げるため，地域の方とともに一列に並んで慎重に手渡しで運んだり，宮司さんの祝詞や代表の玉串奉納に合わせて赤米の豊作を祈ったりしました。また，今年の吉凶を占う湯立て儀式では，参列者として笹の葉ですくった釜の湯を宮司さんにかけていただいたり，釜で茹でた10円玉をお守りにいただいたりし，無病息災や学業成就を祈りました。厳かに執り行われた地域行事への参加体験を通して，赤米は地域の宝物として，地域で大切に受け継がれていることを実感することができました。

学校保健委員会で教育講演会

２４日（火），本年度２回目の学校保健委員会が開催され，講演会が行われました。講演会には講師として，川崎医療福祉大学の田淵　泰子（たぶち　やすこ）先生をお招きし，「子どもの心の病とは～心の声に耳を傾ける～」と題してご講話いただきました。

ご講話では，「こころの病」≒精神疾患の概要や現状，その中で思春期に起こりやすい統合失調症の詳細，世界的課題である精神障害への差別や偏見の現状と解決への願いについて，具体的に分かりやすくご講話いただきました。

うつ病，統合失調症などの疾患は誰にでも起こりうるありふれたものであること，精神障害への差別や偏見を取り除くための「こころの病気を学ぶ授業」，子どもの心の病のＳＯＳサイン，声掛けや接し方など，たくさんのご示唆をいただきました。講話をとおして正しい認識を深め，日々の子どもたちへの接し方のヒントをいただくことができました。